

令和3年8月19日  
中部地方整備局

## 「道の駅」防災機能強化の取り組み ～小型発動発電機の寄贈～

- 国土交通省では、「道の駅」第3ステージの取り組みの一つとして、災害時に地域防災拠点となる「道の駅」の防災機能を強化するため、耐震化や無停電設備などの施設整備を推進しています。
- このたび、(一社)日本道路建設業協会中部支部と中部ブロック道の駅連絡会とが連携し、昨年度に続き、地域防災計画に位置づけられる7箇所の「道の駅」に小型発動発電機が寄贈されることとなりました。
- 小型発動発電機が寄贈される中部の「道の駅」7箇所
- ・道の駅「モンデウス飛騨位山」(岐阜県高山市)
  - ・道の駅「南飛騨小坂はなももの里」(岐阜県下呂市)
  - ・道の駅「和良」(岐阜県郡上市)
  - ・道の駅「明宝」(岐阜県郡上市)
  - ・道の駅「遠山郷」(長野県飯田市)
  - ・道の駅「花の里いいじま」(長野県上伊那郡飯島町)
  - ・道の駅「木曾川源流の里きそむら」(長野県木曾郡木祖村)
- 小型発動発電機は、8月下旬より順次「道の駅」へ寄贈される予定で、昨年度からの累計で14箇所の「道の駅」へ寄贈されることとなります。

1. 配付資料：別紙 ((一社)日本道路建設業協会中部支部公表資料)
2. 配布先：中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ  
高山記者クラブ、下呂記者クラブ、  
飯田市役所記者クラブ、塩尻市桔梗ヶ原記者クラブ、  
駒ヶ根市役所記者クラブ、伊那市記者クラブ

### <問い合わせ先>

中部地方整備局 道路部計画調整課

課長 いのうえ ひでとし  
井上 英俊課長補佐 わだ はるき  
和田 春樹

直通電話:052-953-8171

## 道の駅への発電機の贈呈について

- すべての道の駅に、災害時用小型発電機を装備  
～地域防災計画に位置付けられる道の駅の100%保有を目指して～

一般社団法人日本道路建設業協会（東京都中央区、会長：西田義則）は一般社団法人全国道の駅連絡会（東京都江東区、会長：石井 裕）と連携し、国土交通省が推進する道の駅の防災機能強化として、全国の地方自治体において地域防災計画に位置付けられる、道の駅の発電機保有率100%を目指し、今後3年間で約200の道の駅に小型発電機を贈呈します。

全国道の駅連絡会と協力し、国土交通省が推進する道の駅「第3ステージ」における道の駅の防災機能強化の一助とするものです。

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、四半世紀が経過し、国土交通省では、2020年からは第3ステージ「地方創生・観光を加速する拠点」として位置づけており、新たに加わった道の駅とともに取組みを進めてまいります。

現在、全国の地方自治体の地域防災計画に位置付けられる道の駅の発電機保有は、地方部においては約半数にとどまっています。一方で、台風等による停電に備える対策も急務となっており、日本道路建設業協会は全国道の駅連絡会と連携し、こうした未保有の道の駅に対して、小型発電機約200台を贈呈し、保有率100%となるよう令和2年度に開始し今年度は2年目となり、中部支部では今年も7つの道の駅に贈呈します。

日本道路建設業協会中部支部ではこれまでに社会貢献活動として、平成20年度からAED（自動体外式除細動器）を15台、平成27年度からは小型発電機を25台贈呈して参りました。

小型発電機は、停電時における道の駅の補完電源として、生活に必須となった携帯電話の充電、夜間照明など幅広く利用でき、地域住民への「安心」を提供するとともに道路利用者の安全・安心確保に寄与するものです。

### ■今年度贈呈する道の駅

- ①岐阜県高山市 道の駅「モンデウス飛騨位山」
- ②岐阜県下呂市 道の駅「南飛騨小坂はなももの里」
- ③岐阜県郡上市 道の駅「和良」
- ④岐阜県郡上市 道の駅「明宝」
- ⑤長野県飯田市 道の駅「遠山郷」
- ⑥長野県飯島町 道の駅「花の里いいじま」
- ⑦長野県木祖村 道の駅「木曾川源流の里きそむら」